

特別支援教育課便り

教職員・幼児児童生徒・保護者を応援します！

# サポート

No.129

平成28年3月28日発行  
特別支援教育課 指導班

## 卒業～それぞれの旅立ち～

寒い冬がようやく終わりを迎え、和らいだ陽差しの春が近づいてきました。

3月は旅立ちの季節でもあります。特別支援学校の卒業に向けたそれぞれの思いを紹介します。

### 県立盲学校



#### 盲学校修了を迎えて

高等部専攻科理療科3年 菅原活子さん

私は、高等部普通科と高等部専攻科理療科の6年間、盲学校に在学していました。6年前は土崎から移転してきたばかりのピカピカの校舎に入学、普通科3年では創立百周年、そして秋田県立盲学校という校名での最後の卒業生です。歴史的な時期に在学していたことをとても嬉しく感じます。百周年記念式典で当時生徒会長を務めていた私は、生徒代表として挨拶をしました。「盲学校は夢と希望を見つけることのできる学校、記念植樹したプルーンの木と共に成長したい」と話したことを鮮明に覚えています。中庭のプルーンの木は今もぐんぐんと伸び続け、私たちの成長を見守っています。

理療科に進学し、寄宿舎にも普通科同様に入舎することを考えましたが、将来を見据え自宅から通学する期間を設けていただきました。その結果、交通手段や時間の使い方などを学ぶことができました。盲学校の特徴として「さまざまな世代との共学」がよく挙げられます。私はこの6年間、さまざまな世代の人と出会い、多くのことを教わりました。年上の方々から学ぶことももちろんありましたし、年下の生徒から勇気や友情の大切さなどを教わる機会も多くありました。盲学校で得られたことは、この先きっと糧となることでしょう。出会った方々に感謝し、今後も精進していきたいと思えます。



# 県立能代養護学校



～卒業を迎えて一言～

高等部3年 七尾花奈さん

学校生活は、辛いことや悲しいこともたくさんありましたが、楽しいこともたくさんあって、そういう学校が好きです。ありがとう。友達、バスケ部の仲間、先生方。

たくさんの人が、私に話しかけてくれたから、今、みんなに話しかけることができると思います。就職したら、健康管理に気を付けて、利用者さんに優しく話しかけたいです。



高等部3年 田中隆樹さん

この6年間、たくさんの人に出会えて、友達もたくさんできてうれしかったです。友達も支えてくれたから学校も頑張ることができたし、笑顔も増えたと思います。ありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです。

# 県立秋田きらり支援学校



～卒業を祝う会～

3月11日、心配された天気も卒業生の門出を祝うかのように晴れ渡り、27名の児童生徒が巣立ちました。卒業式後、高等部では保護者主催の「卒業を祝う会」が催され、社会に飛び立つ10名の生徒を保護者・職員でお祝いしました。進藤校長先生、初山副校長先生は、本年度をもって御退職なさることもあり、生徒との別れも感慨深かったことと思います。校長先生、副校長先生とともに、児童生徒の笑顔があふれる温かな会となりました。

# おめでとうございます

## 内閣府 平成27年度「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」受賞

地域における七夕花火大会、地域クリーンナップ、除雪ボランティア等、様々な貢献活動を展開している県立大曲養護学校の「絆プロジェクト」が内閣総理大臣表彰を受賞しました。

平成28年3月23日（水）、東京で行われた表彰式に高等部2年生 黒澤拳人さんが代表として参加しました。



学校探訪 10  
光る汗 輝く瞳 挑む姿  
大曲養護学校

引き継がれる活動  
力作カレンダー・地域清掃活動・伝統の和太鼓演奏  
季節の運動：スキー満喫

小学部では、全員で2か月分の季節を表現した創作画や模様つけをして仕上げるカレンダー制作に取り組んでおり、完成後は普段お世話になっている地域の学校や市役所、店舗などへ感謝を込めて直接持参しています。今年度からは、高等部木工班が新たに取り組みを始めた「干支飾り」も一緒にお渡ししています。毎年、工夫した心温まる図案で、大変喜ばれています。中学部では、学校周辺だけでなく、大仙と角館の中心街のクリーンアップ活動を行っております。また、学校近くにあるスキー場でのアルペンスキーとそり活動を行っており、奥羽山脈を見渡すフラットな緩斜面コースを思い存分楽しんでいきます。高等部は、高3生伝統の和太鼓があり、太鼓の指導者から徹底した指導を受け、文化祭だけでなく、年間を通じて地域の各種イベントで演奏しています。演奏の回を重ねることが実践練習となり、毎年観客の方々に感動を与えています。



【カレンダー贈呈】



【颯爽とスキー滑降】



【鼓動：和太鼓演奏】

特別支援教育課便り「サポート」では、各事業の説明や実際の取組紹介、県内各特別支援学校の活動などを紹介してきました。新年度から特別支援学校の校名変更に併せ、今後は全ての学校種における特別支援教育の推進に向け、本便りの名称も「支援だより 伝心」に変更します。これまで同様、各校の児童生徒の頑張りや活動、実践などの真心を伝えるとともに、特別支援教育の理解・啓発を支援する便りにしていきます。